

WEST UNION
WEST UNION
第434号
2025年7月28日

J R よなご
西労組
west japan railway trade union - YONAGO

西日本旅客鉄道労働組合
米子地方本部
発行責任者 大川 達也
編集責任者 平新 直大

第37回定期中央本部大会



米子地方本部から
「大川達也」が
本部執行委員に選出！
(組織・国際部長)

各地より代議員・傍聴者一斉に集結し、 2025年度運動方針を満場一致で決定!!

JR西労組「第37回定期中央本部大会」が、7月16日(土)18日にかけて、福岡アイランドシティフォーラムにて、3日間の日程で開催された。今大会は、隔年で開催される人事改選を伴う大会で、小委員会を含め、熱気溢れる大会となった。

大会初日は、上村中央執行委員長より1年間の運動の総括と今大会に課された重要課題5点について挨拶が行われ、後に来賓からも多くの祝辞が添えられた。

大会2日目は、午前に運動方針案と予算案が提起され、その後1日目の代表質疑が行われた。ここでは米子地本の鶴石業務部長が代表質疑に立ち、安全課題を含む4点について発言を行った。午後からは、第1小委員会(組織・財政)と第2小委員会(安全・業務)の2つの小委員会に分かれて討議が行われ、第1小委員会では、久保田、眞壁、西上代議員が、第2小委員会では、福田、高橋代議員が力強く地本・支部・分会を代表しての発言を行った。

大会最終日も、残りの各地本代表者の質疑が行われ、各種課題に対する問題提起がなされ、本部執行部より質疑に対する答弁と羽野書記長の総括答弁が行われた。その後、今年度の運動方針は全会一致で採択された。

そして、役員改正では羽野新執行委員長をはじめとする新たな執行部が立ち上がり、米子地本からは大川委員長を本部執行委員に選出した。新たな運動方針と執行部体制が確立し、最後に羽野執行委員長の団結ガンバローで大会を締めくくった。

福岡地本主幹で大会を作り上げる
新たな運動方針・新執行部体制を確立!!



地本を代表して6名の代議員が力強く発言する!



代表質疑をする鶴石業務部長

- 安全の確立について・・・伯備線触車事故は米子エリアで働く者の安全の原点である。風化防止に努めると共に、多発する労働災害に対し、ルールが制定された根本を学ぶ教育の拡充の必要性ではないか。
- 業務課題について・・・187系のワンマン運転に関する課題解決が急務である。冷房装置をはじめとした車両のリニューアルが必要ではないか。
- 組織課題について・・・脱退者が発生してしまったことを真摯に反省し、改めて原点に立ち返り組織の強化に努めていく。
- 春闘について・・・物価高騰に負けない継続した賃上げとグループ会社との格差是正にむけて、JR産業を先導する春闘を作るべき。
- 政策と政治について・・・地方本部として政策課題に正面から対応していく。政策実現のためにも来年6月の中田米子市議会議員の選挙に向けて全力で取り組んでいく。

簡単・便利
ろうさん
アプリ

Google Play
で手に入れよう

App Store
からダウンロード



- 工務系統に支給されている屋外作業着について
屋外作業着の改善と選択肢の増加を
- 産休育休復帰後の働き方について
復帰以後の働き方についてWI委員会等での活発な議論を

福田理佳子 委員

- 要員問題について
機動業務を加味した駅係員の要員の算定を
- 特急列車のワンマン化に伴う問題点について
課題解決にむけた予算拡充を

【安全・業務】第2小委員会

高橋大介 委員



- ユーススピリット成功に向けた決意について
- 青年女性委員会の組織運営について
青女の世代は青女の活動を!!
- 女性参画について
西労組の女性役員経験者の積極的な登用を

久保田隼人 委員

眞壁春樹 委員

- 共済の加入推進の取り組みについて
推進者向けの教育機材の充実を!!
- ハラスメントへの対応について
西労組としてハラスメントは絶対に許さないとのスタンスで



- レクリエーション活動について
オンラインを活用するなど、新たな種目の検討を
- 政治活動について
組織内議員育成にむけた取り組みを

西上一哉 委員

【組織・財政】第1小委員会

第32回機関紙コンクール受賞!

- 【支部の部】
努力賞：石見支部「いさり火」
- 【分会の部】
最優秀：倉吉駅連区分会「あげぬ」
特別賞：鳥取列車分会「鳥取列車分会ニュース」
特別賞：米子運転所分会「BE-TEN NEWS」



受賞おめでとうございます!!

第35回米子地本定期大会

- 日時 2025年8月22日(金) 10:15~17:00
- 場所 米子コンベンションセンター 小ホール